

有賀 元栄（長野県防災士）

日本防災士会本部会員 長野県地域防災推進協議会（松本大学内）会長

## 飯田線復旧に向けて

8月15日被災後、高速を含めた道路網は20日頃に全面復旧、中央線は9月8日に復旧した。伊那谷の通勤、通学、生活の足でもある飯田線が不通になり、一ヶ月が経過しようとしている。今日、JR職員、復旧現場の責任者の方と面談することが出来た。

「この橋脚は明治時代の構築らしい。数々の豪雨災害に見舞われながら、耐えに耐え今回我慢できなかったのでは」「台風時期になり心配だが、12月を目安に完全復旧を目指したい」と。この川は「横川川」と云い、経ヶ岳連峰の辰野町西側の水が全て流れ込む。昭和34・36・38・40、平成18年の豪雨にも耐え抜いた橋脚である。休日返上で職員の方は頑張っているとのことでした。面談の機会も頂き、また、担当されている職員の皆さんに心より敬意を表したいと思います。来週には、橋脚のジャッキ上げそのための資器材搬入路を作成していました。不通のために通勤、通学は代行バス。小・中・高の子ども達が普段歩くことの無い道・距離を通う姿を何回も見ました。



被災時のままの線路



ジャッキ上げまでの土嚢固め



資器材搬入路作成中



「閉まらずの踏切」警報機左横2mが被災現場